

【引受保険会社】

CHRONOGRAPH

【クロノグラフ】



アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)
II型

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2016年度
(2016年4月～2017年3月)
特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

- ・アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の株価指数連動追加年金のお支払のための資産は、特別勘定で運用を行います。
 - ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。また、本保険契約の「型」または「特別勘定」単位の情報を掲載しております。
 - ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
 - ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 - ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- * 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険（米ドル建） II型 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2016年4月～2017年3月]

【日本株式市場】

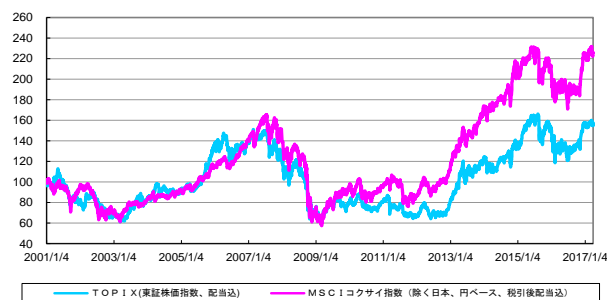
日本株式市場は上昇しました。年度末の東証株価指数(TOPIX)は前年度末比+12.28%の1,512.60ポイント(前年度末1,347.20ポイント)となりました。年度の前半は、6月末に英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱派が勝利したことを受けて急落する局面があり、一時1,200ポイントを下回りました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて急落する局面がありましたが、米新政権の政策への期待などから市場は上昇し、1,500ポイントを超えました。1月に米新政権が発足すると、政策運営への不透明感と期待とが錯綜し、その後はもみ合い展開となりました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇しました。年度末のNYダウ工業株30種は前年度末比+16.84%の20,663.22ドル(前年度末17,685.09ドル)となりました。年度の前半は、6月末に英国の国民投票の結果などを受けて急落する局面があり、一時17,000ドル近辺まで下落しましたが、買戻しの動きと堅調な経済指標から上昇に転じました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権の政策への期待などから市場は大幅に上昇しました。その後、米新政権の政策運営への不透明感から軟調に推移する場面もありましたが、3月には21,169.11ドルを付け、期を通じては上昇して終えました。欧州株式市場は上昇しました。市場別の年間の騰落率は、独DAX指数+23.55%、英FTSE100指数+18.59%、仏CAC40指数+16.82%となりました。6月末の英国の国民投票の結果などを受けて急落する局面がありましたが、年度の後半には、米国株式市場に連れて上昇しました。

日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

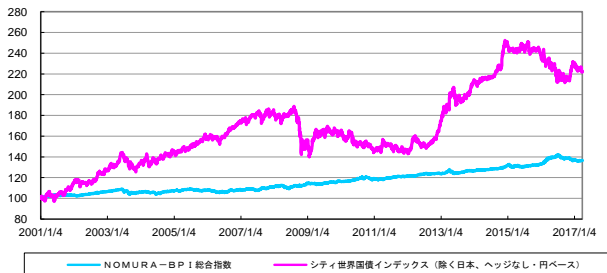


【日本債券市場】

日本債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には0.065%(前年度末△0.050%)となりました。年度の前半は、4月から6月にかけて日銀の追加金融緩和期待への高まりなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。6月末の英国の国民投票の結果などを受けて金利は更に低下し、△0.300%となる場面がありました。その後、7月から8月にかけて、財務相が40年国債増発の検討を表明したことなどから金利は上昇に転じ、9月には日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を発表したことなどを受けて、0%近辺で推移しました。年度の後半は、米新政権の政策への期待などから米国金利が上昇したことによって国内金利も上昇しました。

日本と外国の債券市場の推移

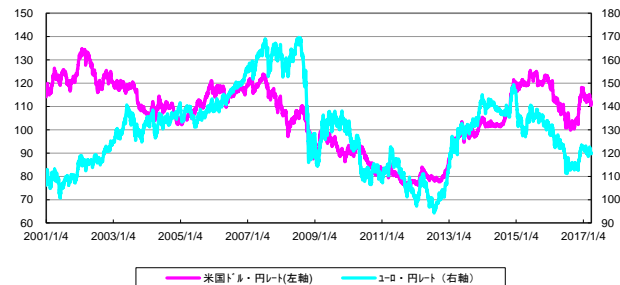
*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



【外国債券市場】

米国債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には2.387%(前期末1.769%)となりました。年度の前半は、6月末に、英国の国民投票の結果などを受けて金利は急低下する局面があり、一時1.3%近辺まで低下しました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権の政策への期待、インフレ率上昇の観測、さらには、FOMC(連邦公開市場委員会)で1年ぶりの利上げが決まったことなどを背景に金利は上昇しました。その後は、金利上昇への期待と、新政権の政策運営への不透明感から揉み合いました。年度中に、FRB(米連邦準備制度理事会)による、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標引き上げが2回行われ、計0.500%引き上げの年0.750～1.000%となりました。欧州債券市場は、独10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には0.328%(前年度末0.153%)となりました。年度の前半は、EUが域内の景気・物価見通しを下方修正したこと、英国の国民投票の結果などから金利は低下し、△0.2%を下回りました。年度の後半は、米新政権の政策への期待、インフレ率上昇の観測などを背景に金利は上昇し、0.5%超となることもありました。ECB(欧州中央銀行)の政策金利は据え置かれ、年0.000%となっています。

外国為替市場の推移



【外国為替市場】

米ドル/円相場は、円高米ドル安となり、年度末には112.19円(前年度末112.68円)となりました。年度の前半は、米国の早期利上げ観測の後退、英国の国民投票の結果などを受けて円高で推移し、100円近辺の水準となることがありました。期の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権への期待からドルが買われました。その後も、12月には堅調な米景気指標や、FOMCで1年ぶりの利上げが決まったことなどを背景に円安が進行し、118.18円を付きました。年度末に向けて米国の金利上昇への期待と米新政権の政策運営への不透明感から揉み合い、円高米ドル安で推移しました。ユーロ/円相場は、円高ユーロ安となり、期末には119.79円(前期末127.70円)となりました。期の前半は、英国の国民投票の結果などを受けて円高に推移し、一時111.22円となりました。期の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、円、ユーロとも対ドルで下落しましたが、円の下落幅がユーロよりも大きかったことなどから、対ユーロで円安基調となりました。期末に向けて欧州における反EUの政治リスクへの懸念と欧州の金利上昇との間で揉み合いましたが、期を通じては円高ユーロ安となりました。

出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定の運用方針について

【資産運用に係る基本的性格】

- ◆この保険の株価指数連動追加年金のお支払いのための資産は、資産運用の成果が、株価指数連動追加年金額の増減につながるため、この保険の基本年金のお支払いのための資産(米国債券などの公社債を主な運用対象とし一般勘定で運用します。)および他の保険種類の資産とは区分して管理・運用を行なう必要があります。そのため当社は特別勘定を設け、特別勘定資産を他の資産とは独立した体制と方針に基づき運用します。
- ◆特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ◆特別勘定資産の運用は一定の収益も期待できますが、一方で対象株価指数の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る、または全くない場合があります。特別勘定資産の運用結果は、株価指数連動追加年金原資額および積立金額に直接反映されることから、資産運用の成果と投資リスクがともにご契約者に帰属することになります。

【目的と運用方針】

- ◆据置期間(ご契約日から10年間)満了までご契約を継続するご契約者に対して、所定の株価指数の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資を基本年金原資に上乘せすることを目的とし、これを運用方針とします。

米ドル・円 外国為替市場の推移

(2016年4月～2017年3月)

【米ドル・円 外国為替市場の推移】



※当該グラフで表示している為替市場は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ①

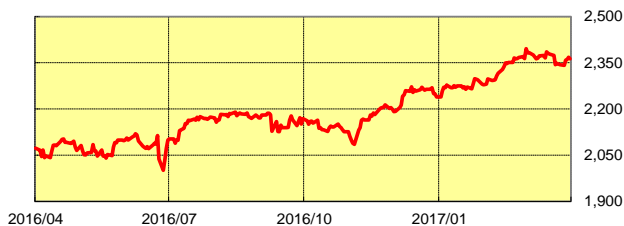
2017年3月末日現在

【運用コメント】

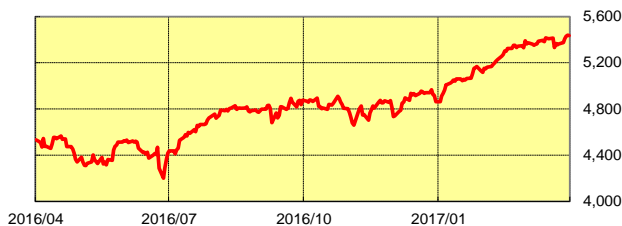
当特別勘定資産は、世界を代表する10株価指数の毎年の最高の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資額を確保することを目的として、当社がエクイティ・インデックス・スワップ取引を行うことにより運用しました。当社は、特別勘定に繰り入れた金額を用いてエクイティ・インデックス・スワップ取引を行い、世界の10株価指数のパフォーマンスによって変動する将来の追加年金原資額の給付を確保するための運用を行いました。

【世界の10株価指数の推移】 (2016年4月～2017年3月)

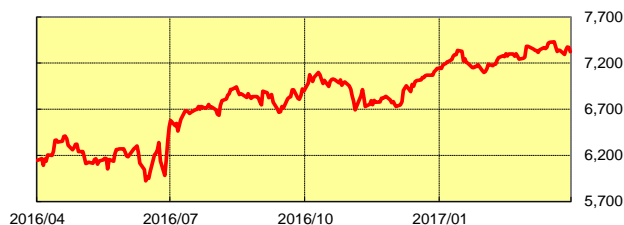
[S&P500(アメリカ)]



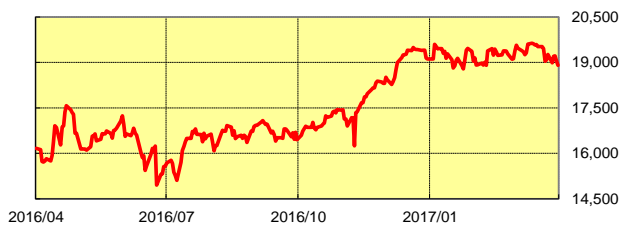
[NASDAQ100(アメリカ)]



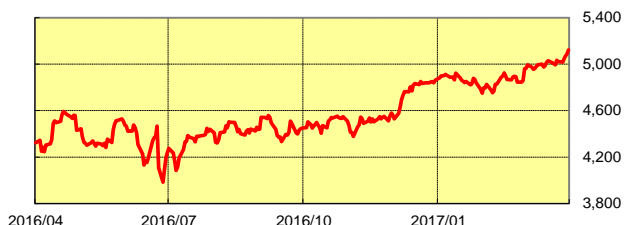
[FTSE100(イギリス)]



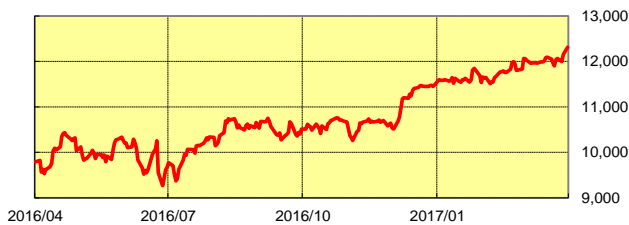
[日経平均株価(日本)]



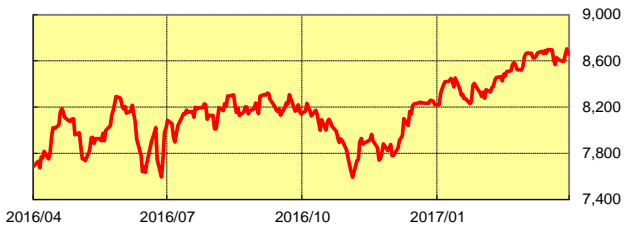
[CAC40(フランス)]



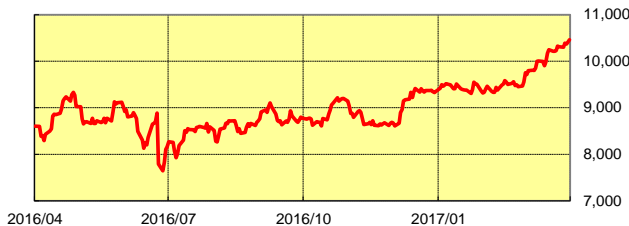
[DAX(ドイツ)]



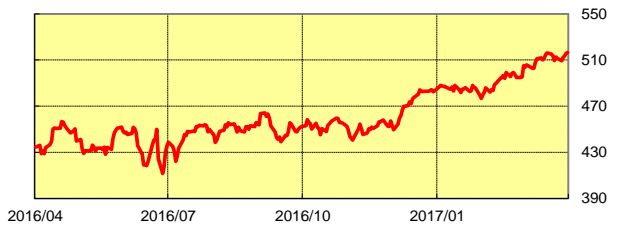
[SMI(スイス)]



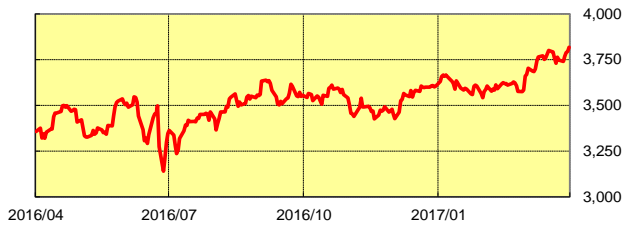
[IBEX35(スペイン)]



[AEX(オランダ)]



[BEL20(ベルギー)]



【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ②

2017年3月末日現在

【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】

(2017年3月末日までに最も上昇した株価指数と確定した特別勘定ごとの上昇率を以下に記載いたしました。)

特別勘定 (契約年月日)	最も上昇した株価指数と上昇率									
	第1保険年度末		第2保険年度末		第3保険年度末		第4保険年度末		第5保険年度末	
2007年5月1日	NASDAQ 100	1.9%	-	0.0%	NASDAQ 100	47.7%	DAX	22.2%	NASDAQ 100	14.0%
2007年6月1日	NASDAQ 100	4.6%	-	0.0%	NASDAQ 100	29.0%	NASDAQ 100	26.1%	NASDAQ 100	8.6%
2007年7月1日	-	0.0%	-	0.0%	AEX	23.5%	NASDAQ 100	30.0%	NASDAQ 100	14.0%
2007年8月1日	-	0.0%	-	0.0%	BEL 20	16.8%	NASDAQ 100	26.7%	NASDAQ 100	11.8%
2007年9月1日	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ 100	7.8%	NASDAQ 100	26.2%	NASDAQ 100	23.0%
2007年10月1日	-	0.0%	NASDAQ 100	14.8%	NASDAQ 100	16.9%	NASDAQ 100	9.3%	DAX	27.9%
2007年11月1日	-	0.0%	IBEX 35	29.3%	NASDAQ 100	27.4%	NASDAQ 100	13.0%	DAX	14.7%
2007年12月1日	-	0.0%	NASDAQ 100	48.8%	NASDAQ 100	21.4%	NASDAQ 100	3.1%	DAX	27.6%
2008年1月1日	-	0.0%	NASDAQ 100	56.3%	NASDAQ 100	18.4%	NASDAQ 100	2.3%	DAX	29.0%
2008年2月1日	-	0.0%	NASDAQ 100	47.5%	NASDAQ 100	30.4%	NASDAQ 100	8.5%	日経平均株価	26.5%
2008年3月1日	-	0.0%	NASDAQ 100	62.8%	NASDAQ 100	29.0%	NASDAQ 100	12.2%	SMI	22.2%
2008年4月1日	-	0.0%	AEX	62.7%	NASDAQ 100	18.7%	NASDAQ 100	17.9%	SMI	25.3%
2008年5月1日	-	0.0%	NASDAQ 100	47.7%	DAX	22.2%	NASDAQ 100	14.0%	日経平均株価	45.5%
2008年6月1日	-	0.0%	NASDAQ 100	29.0%	NASDAQ 100	26.1%	NASDAQ 100	8.6%	日経平均株価	61.2%
2008年7月1日	-	0.0%	AEX	23.5%	NASDAQ 100	30.0%	NASDAQ 100	14.0%	日経平均株価	51.8%
2008年8月1日	-	0.0%	BEL 20	16.8%	NASDAQ 100	26.7%	NASDAQ 100	11.8%	日経平均株価	57.1%
2008年9月1日	-	0.0%	NASDAQ 100	7.8%	NASDAQ 100	26.2%	NASDAQ 100	23.0%	日経平均株価	51.4%
2008年10月1日	NASDAQ 100	30.9%	NASDAQ 100	16.9%	NASDAQ 100	9.3%	DAX	27.9%	日経平均株価	62.9%

- ・記載の「上昇率」とは、据置期間満了日までの各保険年度末日における各株価指数の終値と、その直前の保険年度末日における各株価指数の終値(第1保険年度の末日における計算においては、計算開始日における各株価指数の終値)とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・保険年度末における全ての株価指数の上昇率がゼロまたはマイナスであった場合は、その保険年度末に確定する株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上記の計算を、計算開始日以後、据置期間満了日までの各保険年度末日に行います。(据置期間満了日までに10回計算します。)
- ・「終値」とは、各日末(日本時間)において当社が入手できる最新の終値を指します。
- ・記載の上昇率はあくまでも2017年3月末日までに確定した上昇率であり、将来の各株価指数の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ②

2017年3月末日現在

【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】

(2017年3月末日までに最も上昇した株価指数と確定した特別勘定ごとの上昇率を以下に記載いたしました。)

特別勘定 (契約年月日)	最も上昇した株価指数と上昇率							
	第6保険年度末		第7保険年度末		第8保険年度末		第9保険年度末	
2007年5月1日	日経平均株価	45.5%	NASDAQ 100	24.6%	日経平均株価	36.4%	-	0.0%
2007年6月1日	日経平均株価	61.2%	IBEX 35	28.0%	日経平均株価	40.5%	-	0.0%
2007年7月1日	日経平均株価	51.8%	IBEX 35	41.1%	日経平均株価	33.4%	S&P 500	0.6%
2007年8月1日	日経平均株価	57.1%	IBEX 35	29.3%	日経平均株価	31.7%	S&P 500	3.0%
2007年9月1日	日経平均株価	51.4%	NASDAQ 100	32.8%	日経平均株価	22.4%	NASDAQ 100	10.3%
2007年10月1日	日経平均株価	62.9%	NASDAQ 100	25.2%	日経平均株価	7.5%	NASDAQ 100	18.4%
2007年11月1日	日経平均株価	60.4%	NASDAQ 100	21.1%	DAX	19.0%	FTSE 100	9.9%
2007年12月1日	日経平均株価	65.8%	NASDAQ 100	24.3%	BEL 20	14.1%	FTSE 100	6.2%
2008年1月1日	日経平均株価	56.7%	NASDAQ 100	19.9%	BEL 20	13.9%	FTSE 100	13.8%
2008年2月1日	日経平均株価	33.8%	BEL 20	21.8%	NASDAQ 100	3.1%	NASDAQ 100	19.8%
2008年3月1日	NASDAQ 100	34.9%	日経平均株価	26.6%	-	0.0%	NASDAQ 100	26.2%
2008年4月1日	IBEX 35	30.4%	日経平均株価	29.5%	NASDAQ 100	2.4%	DAX	21.9%
2008年5月1日	NASDAQ 100	24.6%	日経平均株価	36.4%	-	0.0%		
2008年6月1日	IBEX 35	28.0%	日経平均株価	40.5%	-	0.0%		
2008年7月1日	IBEX 35	41.1%	日経平均株価	33.4%	S&P 500	0.6%		
2008年8月1日	IBEX 35	29.3%	日経平均株価	31.7%	S&P 500	3.0%		
2008年9月1日	NASDAQ 100	32.8%	日経平均株価	22.4%	NASDAQ 100	10.3%		
2008年10月1日	NASDAQ 100	25.2%	日経平均株価	7.5%	NASDAQ 100	18.4%		

- ・記載の「上昇率」とは、据置期間満了日までの各保険年度末日における各株価指数の終値と、その直前の保険年度末日における各株価指数の終値(第1保険年度の末日における計算においては、計算開始日における各株価指数の終値)とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・保険年度末日における全ての株価指数の上昇率がゼロまたはマイナスであった場合は、その保険年度末日に確定する株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上記の計算を、計算開始日以後、据置期間満了日までの各保険年度末日に行います。(据置期間満了日までに10回計算します。)
- ・「終値」とは、各日末(日本時間)において当社が入手できる最新の終値を指します。
- ・記載の上昇率はあくまでも2017年3月末日までに確定した上昇率であり、将来の各株価指数の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型

特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。

特別勘定資産評価額

2017年3月末日現在

特別勘定(契約年月日)	特別勘定資産評価額(米ドル)
2007年5月1日	379,903.16
2007年6月1日	370,712.19
2007年7月1日	401,791.01
2007年8月1日	474,339.11
2007年9月1日	555,413.43
2007年10月1日	419,469.06
2007年11月1日	170,332.84
2007年12月1日	421,172.00
2008年1月1日	163,890.87
2008年2月1日	186,957.44
2008年3月1日	151,112.14
2008年4月1日	202,311.82
2008年5月1日	86,639.01
2008年6月1日	88,803.46
2008年7月1日	49,313.00
2008年8月1日	47,365.87
2008年9月1日	115,577.63
2008年10月1日	149,866.37
合計	4,434,970.41

- ・記載の特別勘定資産評価額は、特別勘定ごとの2017年3月末日時点における合計値となっています。特別勘定は、ご契約日を同一とすることにご契約ごとに設定します。
- ・金額の単位未満は切り捨てています。
- ・記載の特別勘定資産評価額は、株価指数の推移・変動性、金利情勢、及び解約・減額等による特別勘定の積立金額の払い戻しなど諸要因によって変動します。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2016年4月～2017年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

《参考情報》 本保険契約の予定利率および連動率

特別勘定(契約年月日)	適用予定利率	基本年金原資保証率	連動率B(II型)
2007年 5月1日	4.25%	115%	64.80
2007年 6月1日	4.25%	115%	65.40
2007年 7月1日	4.80%	120%	68.20
2007年 8月1日	4.80%	120%	62.60
2007年 9月1日	4.80%	120%	60.80
2007年 10月1日	4.25%	115%	60.10
2007年 11月1日	4.25%	115%	53.50
2007年 12月1日	4.25%	115%	55.60
2008年 1月1日	3.85%	110%	50.60
2008年 2月1日	3.85%	110%	54.00
2008年 3月1日	3.40%	105%	45.00
2008年 4月1日	3.40%	105%	48.00
2008年 5月1日	2.90%	100%	48.20
2008年 6月1日	3.40%	105%	50.00
2008年 7月1日	3.40%	105%	45.80
2008年 8月1日	3.85%	110%	46.90
2008年 9月1日	3.85%	110%	44.60
2008年 10月1日	3.40%	105%	41.70

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は一時払保険料のうち一定割合の金額を特別勘定に繰り入れ、エクイティ・インデックス・スワップ取引により、所定の10株価指数に連動した運用を行う米ドル建の個人年金保険です。

※ 所定の10株価指数(S&P500、NASDAQ100、FTSE100、日経平均株価、CAC40、DAX、SMI、IBEX35、AEX、BEL20)の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る場合、またはまったくない場合があります。

【為替リスクについて】

この保険は米ドル建ですので、外国為替相場の変動による影響を受けます。

年金や給付金などを米ドル建でお受け取りになる場合には、円に換算した年金や給付金などの額が、ご契約時における外国為替相場によって円に換算した年金や給付金などの額を下回る場合があります。同様に、お受け取り時における外国為替相場によって円に換算した年金受取総額などが、お払い込み時における外国為替相場によって円に換算した一時払保険料を下回る場合があります。

【市場価格調整について】

基本払いもどし金額は、米国債券などの運用資産の価値が反映(市場価格調整)されますので、解約(減額)時の所定の市場金利により増減し、経過期間にかかわらず一時払保険料相当額を下回る場合があります。

【諸費用について】(下記の各費用の合計額をご負担いただきます。)

＜ご契約時にかかる費用＞

項目	費用
契約初期費用	契約時に一時払保険料から初期費用として9.9%を控除します。

＜据置期間中にかかる費用＞

項目	費用
保険契約管理費	基本保険金額に対して年率0.2%を責任準備金から控除します。
株価指数連動追加年金原資の管理費	基本保険金額に対して年率0.16%を責任準備金から控除します。
為替手数料	<ul style="list-style-type: none"> 保険料円入金特約を付加して米ドル建の基本保険金額(一時払保険料)を計算する場合は、当社が保険料円換算額を受領する日のTTMLレート+90銭(円入金用レート)の為替手数料がかかります。 円支払特約の適用により年金や死亡給付金などを円でお受け取りになる場合は、年金の場合は年金支払開始日、死亡給付金額などの場合は当社が所定の必要書類を受付けた日の翌営業日のTTMLレート-40銭(円出金用レート)の為替手数料がかかります。なおこれらのレートは将来変更となることがあります。 ※ TTMLレートは、所定の金融機関が公示するその日最初のTTMLレート(対顧客電信売相場仲値)となります。
送金手数料	年金などを米ドル建でお受け取りいただく場合、当社からの送金にかかる手数料は、お客さま(受取人)に負担していただきます。ただし、「円支払特約」を適用される場合には、当社が負担します。金額については送金する金額や取扱金融機関によって異なるため表示できません。

＜年金支払開始日以後にかかる費用＞

項目	費用
年金管理費	年金額に対して1.0%を年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他重要な顧客不利益事項】

■ 米ドル建での基本年金原資保証

基本年金原資額の最低保証は米ドル建で行われるため、据置期間満了日の外国為替相場によっては、円に換算した基本年金原資額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>